

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	6	地域生活に活力を生む社会基盤を着実に整備します
計画項目(施策)	18	きれいな水を美しくかえす上下水道の整備
＜施策分野＞		＜上下水＞

所管部局	所管部局長の氏名
上下水道部	川戸 孝和

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	安全・安心な水道水を安定して供給します。また、公共下水道の計画的な整備により、公共用水域の水質保全と衛生的で快適な生活環境を確保します。
施策方針(めざす姿)	安全・安心な水道水を安定して供給できるよう、水道施設の整備と維持管理に努めます。 また、下水道の整備を推進し、早期に市内全域の水洗化の普及をめざすとともに、下水道等への接続を促進し、効率的で適切な汚水処理を行い、公共用水域の水質保全に努めます。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市一般廃棄物処理基本計画	一般廃棄物(ごみ及び生活排水)の処理事業を行う際の基本的な考え方や施策目標、及び目標を達成するための主要施策・方針を定めたもの	平成19年3月	平成18年度～平成32年度	中間目標年度:平成22年度 平成26年度見直し
第2次京丹後市一般廃棄物処理基本計画	一般廃棄物(ごみ及び生活排水)処理に関する基本的な考え方や方向性を示し、目標と目標を達成するための主要な施策を定めたもの	平成27年3月	平成27年度～平成41年度	平成31年度を中間目標年次に設定
第2次京丹後市合理化事業計画	下水道の普及により大きな影響を受けると予測される一般廃棄物処理業務等に関し、当該業務に携わる業者への経営に影響を与えると予測される時期において支援策を実施し、将来にわたり、し尿等の適正な処理を確保するとともに、一般廃棄物処理業者等の業務の安定を保持することを目的に策定するもの	平成23年12月	平成24年度～平成28年度	
京丹後市水洗化計画	効率的な事業の推進と公共用水域の水質保全、更には生活環境の改善を目的として平成18年9月に策定した「市水洗化計画」について、人口の減少、財政状況、国が定める経済比較に使用する費用関数と耐用年数の見直し、住民の意向を考慮した処理区の設定、水洗化普及率の早期向上等を踏まえ、新たな計画を策定した。	平成22年3月	平成22年度～平成32年度	
京丹後市水道事業基本計画	平成29年に予定している上水道事業と簡易水道事業の経営統合を見据えて事業の現状分析を行い、安定給水に資する施設整備計画及び収支計画を策定した。	平成22年3月	平成22年度～平成35年度	平成26年3月(見直し)

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取り組み ↓		予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果		
		H26決算額	H27予算額 (一般財源)	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施策 貢献度	今後の 方向性		
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課									
① 水道水の安定供給											
○ 基幹施設として位置付けられた施設について、その更新に合わせて耐震化を図ります。											
○ 給水区域を見直すことにより、給水原価の高い小規模施設を休廃止し、給水原価の抑制を図ります。											
○ 給水収益の減少に対応するための収支改善策を実施します。											
○ 安定給水を確保するため、維持管理体制を強化します。											
1	簡易水道事業	水道整備課	667,451	1,143,593 (269,108)	国規定	国・一部	含む	施設整備	S	現状維持	
簡易水道給水地域へ安定的に水道水を供給(水道施設の整備、改良、維持管理等)											
2	簡易水道事業【明許繰越】	水道整備課	162,188	39,715 (115)	国規定	国・一部	含む	施設整備	S	現状維持	
簡易水道給水地域へ安定的に水道水を供給(水道施設の整備、改良)											
3	水道事業	水道整備課	261,233	208,130 (167,062)	国規定	単費	○	維持管理	S	拡大	
上水道給水区域へ安定的に水道水を供給(水道施設の整備、改良、維持管理等)											
② 公共下水道の整備推進											
○ 下水道の整備を推進し、早期完了をめざします。											
○ 施設の統合及び長寿命化対策に取り組みます。											
○ 整備区域における、下水道への接続を促進します。											
4	水洗化推進支援事業	普及推進・料金課	18,250	30,700 (30,700)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持	
市内業者利用による下水道接続に係る排水設備工事費に補助金交付(上限額5万円(高齢者世帯20万円)、交付件数197件)											
5	公共下水道事業(下水道啓発事業)	普及推進・料金課	4,614	6,051 (6,051)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持	
普及推進員(2人)の設置による戸別訪問(訪問件数4,026件、うち面談2,620件)											
6	浄化槽設置整備事業	下水道整備課	5,168	4,423 (1,563)	国規定	国・一部	-	サービス	A	現状維持	
個人が設置する浄化槽設置に対して補助金交付(5人槽9基、7人槽3基、10人槽1基)											
7	集落排水事業	下水道整備課	104,068	125,244 (107,764)	国規定	単費	○	施設整備	S	現状維持	
既存施設の維持管理及び管渠整備等を実施											
8	公共下水道事業	下水道整備課	970,199	1,512,446 (383,646)	国規定	国・一部	-	施設整備	S	現状維持	
既存施設の維持管理及び処理場・管渠整備等を実施											
9	公共下水道事業【明許繰越】	下水道整備課	581,616	257,373 (104)	国規定	国・一部	-	維持管理	S	縮小	
既存施設の管渠整備等を実施											

10	浄化槽整備事業	下水道整備課	182,821	234,319 (105,650)	国規定	国・一部	-	施設整備	S	拡大
個別処理区域における浄化槽管理(1,107基)、公設の浄化槽整備(69基設置)										
			計	2,957,608	3,561,994 (1,071,763)					

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割										
市民等の役割	① 安定給水の確保と収支改善策を実行するための施設統合整備に対して、理解と協力を努めます。 ② 未水洗の建物については、生活雑排水を直接公共用水域に流さないよう水洗化工事を行います。 ③ 料金及び使用料は、応分の負担として期限内に納めます。									

【参考】個別計画で掲げている目標値										
指標名		説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値		
				年度		年度		年度		
京丹後市一般廃棄物処理基本計画										
生活排水処理率		水洗化・生活雑排水処理人口／計画処理区域内人口、(H22目標値:46.7%)	%	29.5	H17	50.5	H26	84.9	H32	
し尿処理量		H22目標値:28,361kl/年	kl/年	36,591	H17	27,923	H26	14,398	H32	
浄化槽汚泥処理量		H22目標値:9,454kl/年	kl/年	11,738	H17	12,051	H26	13,727	H32	
下水道汚泥処理量		H22目標値:387t/年	t/年	307	H17	1,543	H26	2,376	H32	

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	安全・安心な水道水を安定して供給できるよう、水道施設の整備と維持管理に努めます。 また、下水道の整備を推進し、早期に市内全域の水洗化の普及をめざすとともに、下水道等への接続を促進し、効率的で適切な汚水処理を行い、公共用水域の水質保全に努めます。									
めざす目標値	指標名		単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値		
				年度		年度		年度		
	給水原価の高い小規模浄水場の休廃止(浄水施設数)		か所	62	H26	61	H26	49	H36	
	老朽管の延長(石綿管)		km	28	H26	27	H26	0	H36	
	有収率※(上水)		%	78	H26	78	H26	83	H36	
	有収率※(簡水)		%	84	H26	84	H26	87	H36	
	水洗化普及率(整備率)		%	70.9	H26	72.0	H26	88.4	H36	

※有収率:給水する水量に対する料金として収入のあった水量の割合

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○簡易水道統合事業及び配水管布設替事業の実施により、施設の耐震化や老朽管の更新を進めるとともに、浄水場の統合整備により浄水場(1施設)を休止した。 ○水道事業の収支の改善を図るため、水道事業経営計画を策定(平成26年11月)し水道料金の改定を行った(値上げ改定率7.08%、平成27年3月使用分～)。 ○既存の水洗化支援制度に加えて、早期水洗化へのきっかけとなるよう、排水設備アドバイザー派遣事業における派遣対象区域の拡大(平成26年4月～)、また、排水設備等資金融資あっ旋及び利子補給金制度を創設(平成26年4月～)し、公共下水道の水洗化率が1.3ポイント上昇(平成25年度末50.9%→平成26年度末52.2%)した。	○安定給水を確保するためには、水道事業の健全かつ安定的な経営が必要であることから、収支改善に向けた取組を進める必要がある。 ○排水設備工事費の負担や高齢化、後継者の不在等の理由により水洗化率(接続率)が伸び悩んでおり、引き続き水洗化の推進に向けた取組が必要。 ○下水道整備について、早期完了を目指すとともに、老朽化した施設の効率的な管理運営のため、施設の統廃合と長寿命化対策に取り組む必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	水道事業と簡易水道事業では、小規模浄水場の休廃止や老朽管の更新などの施策が予定どおり進捗し、有収率についてもわずか(1%以下)ではあるが、向上した。 下水道事業については、公共下水道及び市設置浄化槽の整備により、水洗化普及率が向上(1.1ポイント)した。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	水洗化率(接続率)の向上に向け、水洗化推進補助金等の支援制度と戸別訪問により、普及推進を図る。	
	2	接続意向調査に基づく公共ますの設置工事を導入し、市内全域の水洗化(下水道の整備)を効果的かつ早期に推進する。	
歳出抑制(歳入確保)の考え方	1	水道事業経営計画に基づく収支改善策(施設の統廃合、有収率の改善など)に取り組む。	
	2	老朽化した下水道施設の効率的な管理運営のため、既存施設の統廃合と長寿命化に取り組む。	

予算科目	02施設費			簡易水道事業特別会計
事業名	簡易水道事業			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額
667,451千円		718,101千円	50,650千円	92.9 % 983,937千円
目的	簡易水道給水地域に、安全安心な水道水を安定的に供給する。			
主要な 事業及び 成果の概要	平成26年度末現在、給水人口24,192人、年間総有収水量2,667,623m³（1.5%減）となった。 ○施設維持管理（水道水を作り各家庭等へ届けるための費用） 214,640千円 ・浄水場の運転や管理など水道水を作るための費用 187,666千円 ・配水池や配水管の管理など水道水を届けるための費用 26,974千円 ○改良事業（施設の改良にかかる費用） 49,543千円 - 鳥取川河川改修に伴う水道管移設実施設計業務 3,456千円 - 郷取水施設改良工事 4,780千円 - 道路改良等に伴う配水管等の布設・布設替工事 L=657.2m 41,307千円 ○統合事業（施設の統合にかかる費用） 392,468千円 (1)久美浜西部簡易水道統合事業 368,280千円 - 三谷・河内・小森水源取水施設改良実施設計業務 - 甲山浄水場改良に伴う中央監視設備機能改良業務 - 甲山浄水場改良に伴う現場監理及び出来高管理業務 - 甲山浄水場施設改良工事（第4号取水井他） - 甲山浄水場急速ろ過機等設備改良工事 - 三谷導水管布設工事 L=1,593.4m (2)久美浜北部簡易水道統合事業 22,468千円 - 神野浄水場取水ポンプ設備更新工事 (3)上記事業の執行に伴う費用（事務費等） 1,720千円 ○宇川地区配水管布設替事業（再編交付金事業） 10,800千円 宇川地区配水管布設替実施設計業務 10,800千円			
主な財源	国補 久美浜西部・北部簡易水道統合事業費補助金（1/4～1/3） 121,804千円 市債 簡易水道事業債 316,300千円 諸収入 河川改良工事に係る水道管移設工事補償金 3,456千円 分担金 水道加入金 2,946千円 繰入金 一般会計繰入金 92,320千円 使用料 水道使用料 130,625千円			
評価・課題等	○簡易水道施設の整備、維持管理を行ったことにより、簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給することができた。 ○平成29年度からの上水道と簡易水道との経営統合を見据え、両水道事業の経営改善を図るため、平成27年度からの水道料金の値上げ改定を行った。 ○今後も、給水人口の減により水道料金収入は減少傾向にあるため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。			
事業所管課	上下水道部／水道整備課			

予算科目	02施設費			簡易水道事業特別会計
事業名	簡易水道事業【明許繰越】			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額
162,188千円		278,424千円	116,236千円	58.2 % 278,424千円
目的	簡易水道給水地域に、安全安心な水道水を安定的に供給する。			
主要な 事業及び 成果の概要	平成26年度末現在、給水人口24,192人、年間総有収水量2,667,623m³（1.5%減）となった。 ○改良事業（施設の改良にかかる費用） 6,963千円 - 道路改良に伴う配水管の布設替工事 6,099千円 - 等楽寺災害関連水道管仮設工事 864千円 ○統合事業（施設の統合にかかる費用） 155,225千円 (1)久美浜東部簡易水道統合事業 7,343千円 - 佐濃谷川橋梁添架（八幡橋）工事 L=56.9m (2)久美浜西部簡易水道統合事業 147,882千円 - 甲山浄水場改良に伴う現場監理及び出来高管理業務 - 甲山浄水場施設改良工事 - 甲山浄水場生物ろ過機新設工事 - 神谷浄水場新設工事 - 神谷舗装復旧工事 A=670.0m² - 神谷導水管仮設工事 - 三谷浄水場新設工事に係る用地購入及び物件移転補償			
主な財源	国補 久美浜東部・西部簡易水道統合事業費補助金（1/4～1/3） 44,429千円 国補 簡易水道施設災害復旧費補助金（1/2） 432千円 市債 簡易水道事業債 116,500千円 前年度繰越金（繰越事業等充当財源） 827千円			
評価・課題等	○簡易水道施設の整備、維持管理を行ったことにより、簡易水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給することができた。 ○平成29年度からの上水道と簡易水道との経営統合を見据え、両水道事業の経営改善を図るため、平成27年度からの水道料金の値上げ改定を行った。 ○今後も、給水人口の減により水道料金収入は減少傾向にあるため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。			
事業所管課	上下水道部／水道整備課			

予算科目				水道事業会計
事業名	水道事業			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
261,233千円	332,570千円	71,337千円	78.5 %	650,880千円
目的	上水道給水区域に、安全安心な水道水を安定的に供給する。			
主要な 事業・ 事業及 び成果 の概要	平成26年度末現在、給水人口30,743人、年間総有収水量3,322,930m³（0.6%減）となった。 ○水道水を作り各家庭等へ届けるための費用 <u>185,650千円</u> ・浄水場の運転や管理など水道水を作るための費用 160,575千円 ・配水池や配水管の管理など水道水を届けるための費用 25,075千円 ○浄水場の改良工事や配水管の新設・布設替の工事費等 <u>75,583千円</u> ・上水道統合事業 <u>38,876千円</u> - 善王寺改良事業（取水施設） 26,420千円 - 中野浄水場改良事業（導水管布設関係設計、用地購入等） 10,338千円 - 口大野浄水場改良事業（取水整備） 2,118千円 ・老朽管布設替等事業等 <u>36,707千円</u> - 老朽管（石綿管）年度末延長：7.8km（前年度比0.6km、7.1%減）			
主な財源	市債	企業債	17,000千円	
	繰入金	一般会計出資金	17,000千円	
	繰入金	消火栓維持管理等負担金	6,831千円	
	分担金	水道加入金	7,068千円	
	使用料	水道使用料	213,334千円	
評価・課題等	○上水道施設の整備、維持管理を行ったことにより、上水道給水地域に安全安心な水道水を安定的に供給することができた。 ○平成29年度からの上水道と簡易水道との経営統合を見据え、両水道事業の経営改善を図るため、平成27年度からの水道料金の値上げ改定を行った。 ○今後も、給水人口の減により水道料金収入は減少傾向にあるため、施設の統合や維持管理費の節減により、コスト削減に努めていく必要がある。			
事業所管課	上下水道部／水道整備課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	10水洗化推進支援事業			
細事業名	01 水洗化推進支援事業				決算書	P.192	
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備		
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額	
18,250千円		18,400千円		150千円	99.1 %	28,400千円	
目的	既存住宅において新規排水設備工事を行った者に対して補助金を交付することにより、既存住宅の水洗化の促進及び地域経済の活性化を図る。						
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	公共下水道事業、集落排水事業及び市設置型浄化槽整備事業の区域内の既存住宅において市内指定業者を利用して新規排水設備工事を行った者に対して、その工事費用の一部を補助した。						
	平成26年度 補助金交付実績 (単位：件)						
		公共下水道		集落排水		浄化槽	合計
		公共	特環	農排	漁排		
	峰山	46				6	52
	大宮		33	1		1	35
	網野	35	8			4	47
	丹後		12		1	1	14
	弥栄			4		1	5
	久美浜		14	11		19	44
合計	81	67	16	1	32	197	
	交付件数 補助単価 補 助 金 額						
	一般世帯等 141 件 × 50 千円 = 7,050 千円						
	高齢者世帯 56 件 × 200 千円 = 11,200 千円						
	合 計 197 件 18,250 千円						
主な財源	府補 未来づくり交付金（水洗化推進支援事業）					7,700千円	
評価・課題等	○補助金を交付することで下水道接続促進を図ることができた。 ○下水道等への接続が難しい理由に、約6割の方が経済的負担を挙げておられるが、水洗化の意義や接続推進制度の周知を今後も継続して行い、接続率の向上に向けて努力していく必要がある。						
事業所管課		上下水道部/普及推進・料金課					

予算科目	01総務費	01総務管理費	01一般管理費	公共下水道事業特別会計	
事業名	02 公共下水道事業（下水道啓発事業）				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
4,614千円		4,892千円	278千円	94.3 %	4,892千円
目的	下水道事業の目的である公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を市民に求め、接続の推進により円滑な事業運営を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○普及推進員 供用開始区域内の下水道未接続世帯に戸別訪問を行い、下水道等の必要性を訴えるなど早期接続の啓発を行うとともに、各種制度についての周知を行った。				
	- 普及推進員報酬（2人×12か月） 3,191千円 - 社会保険料、雇用保険料（2人×12か月） 499千円 - 費用弁償（1人×12か月） 69千円 - 燃料費等 154千円 - 保険料等（自動車損害保険料 2台） 35千円 - 自動車借上料（普及推進用 2台×12か月） 512千円 <活動実績> 訪問件数：4,026件（内 面談：2,620件） 訪問地区：公共下水道区域（峰山・網野） 特定環境保全公共下水道区域（大宮・網野・丹後・久美浜）				
	○下水道接続推進事業利子補給金 既存住宅において新規排水設備工事を行い、その工事費の支払のために金融機関から融資を受けた者に対し、支払利子の全額を利子補給金として交付した。 - 下水道接続推進事業利子補給金 128千円 （公共下水道区域1件、特定環境保全公共下水道区域6件） ○排水設備等資金融資あっ旋及び利子補給制度 上記の利子補給制度を拡充すると共に、市内金融機関との連携による融資あっ旋・利子補給制度を創設し、支払利子の全額を利子補給金として交付した。 - 排水設備等資金融資あっ旋及び利子補給金 26千円 （公共下水道区域1件、特定環境保全公共下水道区域2件）				
主な財源					
評価・課題等	○昨年に引き続き、普及推進員による戸別訪問を積極的に行い、下水道接続のメリット等を周知することで接続の推進が図られた。 ○経済的事由で下水道接続が困難な方には、融資あっ旋及び利子補給を行うことにより経済的負担を軽減し、下水道への接続を促すことができた。 ○引き続き、下水道接続による生活環境の向上及び各制度の周知について、積極的に広報活動を行っていく必要がある。				
事業所管課		上下水道部／普及推進・料金課			

予算科目	04衛生費	01保健衛生費	07環境衛生費	02浄化槽設置整備事業	
細事業名	01 浄化槽設置整備事業				決算書 P.190
総合計画	基本方針	Ⅵ うるおい安全都市		計画項目	⑥ 上下水道の整備
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,168千円		5,461千円	293千円	94.6 %	
目的	個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付し、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○浄化槽設置整備事業費補助金				5,079千円
	浄化槽設置整備事業費補助金 (単位：千円)				
	人 槽	設置数	1基あたり補助額	補助総額	
	5人槽	9基	352	3,168	
	7人槽	3基	441	1,323	
	10人槽	1基	588	588	
	計	13基		5,079	
	○京都府浄化槽推進協議会会費及び負担金				89千円
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金 (1/3)			1,693千円
	府補	浄化槽設置整備事業費補助金 (1/3)			1,693千円
評価・課題等	○集合処理施設が未整備な区域において、個人が設置する浄化槽設置整備事業に対して補助金を交付したことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図れた。 ○公共用水域の水質保全と生活環境の一層の改善のためには、集合処理施設の整備区域となるまでの間、個人の浄化槽設置による水洗化を推進する必要がある。				
事業所管課		上下水道部／下水道整備課			

予算科目				集落排水事業特別会計	
事業名		集落排水事業			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
104,068千円		116,855千円	12,787千円	89.0 %	120,855千円
目的	集落排水事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○処理施設管理費				72,917千円
	処理施設9か所の維持管理経費				
	○管渠管理費				26,310千円
	マンホールポンプ105基、管渠の維持管理経費				
	○管渠整備事業				4,841千円
	下水道管渠布設（溝谷・吉沢） 管路延長L=39m				
	公共汚水ます設置工事 10か所				
主な財源	市債 農業集落排水事業債				4,400千円
評価・課題等	○集落排水施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。 ○年度末における接続率は昨年度から若干向上したが（83.5%→84.5%）、接続率の低い地域を中心に更なる接続率の向上に努める必要がある。				
事業所管課		上下水道部／下水道整備課			

予算科目				公共下水道事業特別会計	
事業名		公共下水道事業			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額
970,199千円		1,232,036千円	261,837千円	78.7 %	1,429,387千円
目的	公共下水道事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○処理場管理費 223,126千円 ・処理場5か所の維持管理経費 (峰山・大宮、網野、橘、丹後、久美浜浄化センター)				
	○ポンプ場管理費 36,825千円 ・ポンプ場7か所の維持管理経費 (峰山・大宮第1・3、久美浜第1・2・3・5・6汚水中継ポンプ場)				
	○管渠管理費 46,287千円 ・マンホールポンプ133基の維持管理経費				
	○施設建設費 663,961千円 [公共] ・下水道管渠(峰山、網野) 管路延長L=1,882m、マンホールポンプ設置1基、公共汚水ます設置13か所、水道補償工事一式等 ・下水施設の再構築基本設計業務 長寿命化計画：峰山・大宮浄化センター、峰山・大宮汚水中継ポンプ場 ・管渠測量、設計、工損調査、土質調査業務等 [特環] ・下水道管渠(大宮) 管路延長L=201m、公共汚水ます設置17か所、水道補償工事一式等 ・下水施設の再構築基本設計業務 長寿命化計画：橘、丹後、久美浜浄化センター、久美浜汚水中継ポンプ場 耐震化実施計画：久美浜浄化センター、久美浜汚水中継ポンプ場 ・管渠設計、工損調査、土質調査業務等				
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金(1/2)			278,231千円
	市債	公共下水道事業債			242,500千円
	市債	特定環境下水道事業債			91,900千円
評価・課題等	○下水道施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。 ○平成32年度の早期水洗化事業完了に向けて下水道整備を行っており、平成26年度末における公共下水道区域内の普及率が、平成25年度末の71.1%から72.5%へと向上した。 ○接続率は52.2%と依然として低いため、下水道への関心を促す広報や、排水設備アドバイザー派遣事業の対象者拡大等、更なる接続推進に努めていく必要がある。				
事業所管課		上下水道部／下水道整備課			

予算科目				公共下水道事業特別会計		
事業名		公共下水道事業【明許繰越】				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②－①)	執行率 (参考) 当初予算額	
581,616千円		646,167千円		64,551千円	90.0 % 646,167千円	
目的	公共下水道事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○施設建設費 581,616千円 [公共] ・下水道管渠（峰山、網野） 管路延長L=3,355m、水道補償工事一式 ・耐震診断業務（峰山、網野） 簡易診断・詳細設計一式 [特環] ・下水道管渠（大宮） 管路延長L=380m、水道補償工事一式 ・耐震診断業務（大宮） 簡易診断・詳細設計一式					
主な財源	国補	社会資本整備総合交付金（1/2）			273,718千円	
	市債	公共下水道事業債			264,200千円	
	市債	特定環境下水道事業債			43,400千円	
評価・課題等	○下水道施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。 ○平成32年度の早期水洗化事業完了に向けて下水道整備を行っており、平成26年度末における公共下水道区域内の普及率が、平成25年度末の71.1%から72.5%へと向上した。 ○接続率は52.2%と依然として低いため、下水道への関心を促す広報や、排水設備アドバイザー派遣事業の対象者拡大等、更なる接続推進に努めていく必要がある。					
事業所管課		上下水道部／下水道整備課				

予算科目	02施設費			浄化槽整備事業特別会計																		
事業名	浄化槽整備事業																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額																
182,821千円		195,494千円		12,673千円	93.5 %	202,583千円																
目的	市設置浄化槽整備事業を推進するとともに、施設の適正な維持管理を行うことで、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	○浄化槽管理費 89,440千円 浄化槽修繕、プロワー取替・修繕、汚水量認定用メーター設置工事等 7条検査手数料 69基分、11条検査手数料 969基分 浄化槽管理委託料、汚泥引抜委託料																					
	<table><tr><td>町 域</td><td>管理基数</td></tr><tr><td>峰山</td><td>151基</td></tr><tr><td>大宮</td><td>116基</td></tr><tr><td>網野</td><td>73基</td></tr><tr><td>丹後</td><td>174基</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>56基</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>537基</td></tr><tr><td>計</td><td>1,107基</td></tr></table>						町 域	管理基数	峰山	151基	大宮	116基	網野	73基	丹後	174基	弥栄	56基	久美浜	537基	計	1,107基
	町 域	管理基数																				
	峰山	151基																				
	大宮	116基																				
	網野	73基																				
	丹後	174基																				
	弥栄	56基																				
	久美浜	537基																				
	計	1,107基																				
○浄化槽設置費 93,381千円																						
<table><tr><td>人 槽</td><td>設置基数</td></tr><tr><td>5人槽</td><td>26基</td></tr><tr><td>7人槽</td><td>35基</td></tr><tr><td>10人槽</td><td>3基</td></tr><tr><td>14人槽</td><td>3基</td></tr><tr><td>21人槽</td><td>1基</td></tr><tr><td>40人槽</td><td>1基</td></tr><tr><td>計</td><td>69基</td></tr></table>						人 槽	設置基数	5人槽	26基	7人槽	35基	10人槽	3基	14人槽	3基	21人槽	1基	40人槽	1基	計	69基	
人 槽	設置基数																					
5人槽	26基																					
7人槽	35基																					
10人槽	3基																					
14人槽	3基																					
21人槽	1基																					
40人槽	1基																					
計	69基																					
主な財源	国補	循環型社会形成推進交付金（1/3）				25,018千円																
	市債	浄化槽整備事業債				67,500千円																
評価・課題等	○浄化槽施設の整備と維持管理により、公共用水域の水質保全と生活環境の改善が図られた。 ○年度末の水洗化率が35.0%から36.2%へと向上したものの、集合処理区域の接続率に比べて低いことから、広報等により制度を周知し、更なる浄化槽設置の推進に努めていく必要がある。																					
事業所管課		上下水道部／下水道整備課																				